

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

室戸市長 植田 壯一郎

市町村名 (市町村コード)	室戸市 (39202)
地域名 (地域内農業集落名)	庄毛地区 (上町西・上町東・西町・中町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 6年 1月 18日 (第 1 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は、65歳以上の高齢者が占める割合が53%となっており高齢化が進行している。持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、集落営農法人や認定農業者による農地の集約化を進めるとともに、新規就農者を中心とした新たな農地の受け手の確保が必要であり、地域住民などを交え地域全体で農地を利用していく仕組みの構築が喫緊の課題である。特に水稻から新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。

【地域の基礎的データ】

農業者:17人(うち50歳代以下1人)、団体経営体(法人・集落営農組織等)1経営体、従業員等5人

主な作物:水稻、促成ナス、促成ピーマン

(2) 地域における農業の将来の在り方

引き続き収益性の高い施設園芸作物の生産については、園芸用ハウスの高度化、環境制御技術の導入などにより更なる収益向上の取り組みを行うとともに、露地作物や畜産用の飼料作物では農地の集積・集約化を進める。また、地域コミュニティの活性化のため、地域内外から農地を利用する者を確保し、担い手への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再分配を進めることができるよう必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	26 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	26 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地中間管理機構を活用して、新規就農者への農地の提供を進めると同時に、規模拡大を希望する認定農業者又は農家への農地の集積を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
現在、基盤整備事業に取り組んでいる。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
<p>【新規就農者の確保・育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内外から多様な経営体を募集し、意向も確認しながら担い手として育成していくため、室戸市やJA、高知県農業振興センター等で構成されるサポートチームが、相談から栽培技術の指導、農業用機械の賃借などの支援や生産する農地のあっせんを行うなど切れ目のない取り組みを展開する。 ・主要品目である促成ナス、促成ピーマンの情報を充実させ、新規就農者の呼び込みと育成を図る。 <p>【認定農業者の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での担い手を育成するため、認定新規就農者や基本構想水準到達者の経営改善を支援し、認定農業者への育成を図る。また集落営農法人である農事組合法人庄毛ファームについては、経営改善に向けた支援とともに現在の役員が高齢となってきたので従事者を確保していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
※今後の検討課題とする。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他
<p>【選択した上記の取組方針】</p> <p>①作業の効率化を図るためドローンによる防除を中心としたスマート農業の導入を進めていく。</p> <p>②新規就農者への農地の提供が円滑に出来るように多面的機能支払交付金を中心とした農地の保全に取り組む。</p> <p>③イノシシやシカの被害が拡大しないよう防止柵を設置するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。</p>				